

2026年3月28日(土)、29日(日) 手技療法の寺子屋 in 福岡第六弾

テーマ：胸郭への徒手的アプローチ

胸郭の機能障害は、頭痛、肩こり、肩関節痛、腰痛をはじめ上肢のしびれや呼吸のトラブルなど多岐にわたる症状を引き起こします。

手技療法を用いて筋緊張を緩和させて胸郭の柔軟性を高めることは、これら症状の改善させるための有効な一手法となります。

しかし手技療法を有効に用いるには、テクニックの形だけを覚えても不十分であることが少なくありません。

機能障害の性状を評価し、適切にコントロールされた介入を行う必要があり、そのためには基本技術を確実に習得しておく必要があります。

今回のセミナーでは胸郭へのアプローチを通して、手技療法の基本、そして技法のレパートリーを拡げるためのアプローチをご紹介します。

☆ベーシック(3/28)

基本の解説から、脊柱(胸椎)のシンプルな評価法を通じて基本技法を学びます。

☆アドバンス(3/29)

基本を確認しながら胸郭を構成する部位へのさまざまなアプローチを紹介し、技術の幅を広げて対応力を向上させると共に、現場の状況に合わせて工夫していくための発想のヒントを提供することを目的にしています。

◎対象となる主な軟部組織

大胸筋・小胸筋・前鋸筋・肋間筋・腹直筋起始部・菱形筋・上/下後鋸筋・腸筋・最長筋・胸棘筋

【このような方におすすめです】

- ・手技療法に興味はあるけど、自分には難しいと思っている方
- ・基本が分かっていないので、この機会に身につけたい方
- ・手技療法を使っていると母指や手首、腰が痛くなる方
- ・触診が分からず手応えを感じない方
- ・より技術の精度を高めたい方
- ・施術の引き出しを増やしたい方

※ 胸郭の機能・解剖学については、必要に応じ教科書程度の内容で結構ですので、復習されておくことをおすすめします。